

センター長に再選されて

計算機センター長 吉田 博

本年度第一回運営委員会におきまして金沢大学電子計算機センター長に再選されました。センター長に就任して以来2年間、総合情報処理センターの設立のための概算要求、センターのサービス向上等に最大限の努力をしてまいりました。

ご存知のとおり、現在の電子計算機は昭和53年にレンタルが認められ、文部省のレンタル料500万円と利用者の負担金により当初FACOM M-160が導入され、昭和57年には、FACOM M-170Fに更新され、さらに、昭和58年4月からは高速化機能が装備されて、現システムとしては、最高速のものとなっています。

しかし、昨年10月から今年の3月までは、連日の24時間運転にもかかわらず、Jobが処理できず、計算の所要日数が大幅に延長いたしまして、利用者の皆様には、多大のご迷惑をおかけしてきました。このままでは、今年はさらに混雑が予想されますので、処理能力が約1.6倍のFACOM M-360APへシステムを変更する準備を昨年4月より進めてまいりまして、どうにかこの7月末より更新作業に着手し、8月10日頃より新システムで運用できる運びとなりました。

しかし、この新システムでも、繁忙期には十分な対応ができるものとは決して思われず、さらに、大型の計算機が必要であります。このようなことから、本年度も移転先での総合情報処理センターの設立を目指し、概算要求を行い、各分室長と一緒に学長にもお願いしまして御理解を頂くよう努力してまいりました。現在のような国の財政状態では、総合情報処理センターの設置は非常に困難なようではあります。運営委員長と共に、最大限の努力をして行くつもりであります。

何卒より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。